

令和 4 年度森林・林業白書の作成方針（案）

1. 白書の構成

(1) 「令和 4 年度森林及び林業の動向」

(ア) トピックス・特集

トピックスとして、令和 4 年度における森林・林業に関する特徴的な動きを紹介・解説する。

特集として、特定のテーマについて詳細な分析等を行う。

(イ) 通常章

第 I 章以降は、「森林の整備・保全」、「林業と山村（中山間地域）」、「木材需給・利用と木材産業」、「国有林野の管理経営」、「東日本大震災からの復興」の章立てとし、森林・林業全般について現状・課題の分析等を行う。

(2) 「令和 4 年度に講じた森林及び林業施策」、「令和 5 年度に講じようとする森林及び林業施策」

現行の「森林・林業基本計画」（令和 3 年 6 月閣議決定）を踏まえた項目立てとする。

2. 特集のテーマ

森林は、山地災害防止・土壌保全、水源涵養機能等を有し、豪雨災害等の防止・軽減に寄与している。我が国においては、明治時代の保安林制度創設をはじめ、現在に至るまで適正な整備・保全を通じて森林の機能の維持増進が図られてきたところ。

一方、戦中戦後の混乱期には、森林が荒廃し、また、大型台風による洪水被害等が頻発したことから、全国的に治山対策や国土緑化運動が進められた。その結果、日本の国土には森林が回復し、洪水や山地災害の発生も大きく減少した。

しかしながら、近年、地球温暖化に伴う降水形態の変化により災害が激甚化しており、森林の災害防止機能を一層高度に発揮させることが必要な状況となっている。

このため、林野庁では、国土強靱化に向けて森林整備や治山対策に取り組むとともに、重点的に取り組むべき治山対策の方向性をとりまとめ、これに沿った具体的な対応を進めているところである。

これを受けて、「令和4年度森林・林業白書」の特集のテーマを「人々の生活を守る森林～気候変動に対応した治山・林地保全対策（仮）」とし、国土強靱化に資する森林の効果や、近年の気候変動等に伴い激甚化する山地災害に対応した治山対策の方向性等について記述する。

その際、戦後の治山対策等の取組やその成果等について整理する。その上で、流域全体の関係者と協働した流域治水の取組をはじめ、ICTを活用した新工法や山地災害危険地区の効果的な把握手法等についても紹介する。

さらに、地域と共生した林地開発許可制度の運用や、盛土規制法に係る話題についても紹介する。

3. 今後の予定

今回を含め計3回の施策部会で検討を重ねていただき、林政審議会での答申を経て、来年5～6月の閣議決定・公表を目指す（別添1）。

（以上）

令和4年度森林・林業白書のスケジュール(案)

令和4年9月7日 林政審議会
(諮問)

第1回施策部会
・作成方針(案)の検討

11月～12月 第2回施策部会
・令和4年度森林及び林業の動向
(構成(案)、主要記述事項(案))

令和5年2～3月 第3回施策部会
・令和4年度森林及び林業の動向(原案)
・令和5年度森林及び林業施策(原案)

4月 林政審議会
・令和4年度森林及び林業の動向(案)
・令和5年度森林及び林業施策(案)
(答申)

5月下旬～6月上旬 閣議決定・国会提出・公表

(参考 1)

◎森林・林業基本法（昭和三十九年法律第百六十一号）（抄）

（森林及び林業の動向に関する年次報告等）

第十条 政府は、毎年、国会に、森林及び林業の動向並びに政府が森林及び林業に関して講じた施策に関する報告をしなければならない。

2 政府は、毎年、前項の報告に係る森林及び林業の動向を考慮して講じようとする施策を明らかにした文書を作成し、これを国会に提出しなければならない。

3 政府は、前項の講じようとする施策を明らかにした文書を作成するには、林政審議会の意見を聴かなければならない。

これまでの森林・林業白書（林業白書）の特集について

| 年度 | テーマ名 |
|---------|--|
| 昭和 47年度 | 国民生活と森林・林業、国有林野事業の課題 |
| 48年度 | 森林資源をめぐる課題 |
| 49年度 | 林業の発展と山村地域の課題 |
| 50年度 | 林業の発展と林家の課題 |
| 51年度 | 林業の地域的発展をめぐる課題 |
| 52年度 | 木材需給と林業発展の課題 |
| 53年度 | 林業の発展と森林資源の整備をめぐる課題 |
| 54年度 | 地域林業の担い手育成をめぐる課題 |
| 55年度 | 木材需給構造の変化と流通加工部門の対応 |
| 56年度 | 林業経営の現状と林業発展の課題 |
| 57年度 | 森林管理の現状と緑資源確保の課題 |
| 58年度 | 林政の推進と国有林野 |
| 59年度 | 国産材時代への挑戦 |
| 60年度 | 森林資源整備の新たな展開を目指して |
| 61年度 | 試練にたつ日本林業とその活力回復に向けて |
| 62年度 | 新たな林業技術体系の構築 |
| 63年度 | 豊かな国民生活のための森林づくり |
| 平成 元年度 | 国民のニーズにこたえる木材の供給と国内森林資源の有効活用 |
| 2年度 | 森林管理とその担い手のあり方 |
| 3年度 | 森林の管理と山村の活性化 |
| 4年度 | 地球環境を守る森林・林業 |
| 5年度 | 森林と木の時代を目指して |
| 6年度 | 森林文化の新たな展開を目指して |
| 7年度 | 林業、木材産業の活性化に向けて |
| 8年度 | 木材の消費・流通構造と国産材供給の課題 |
| 9年度 | 国有林野事業の抜本的改革 |
| 10年度 | 木材の利用推進と森林の適切な整備 |
| 11年度 | 世紀を超えた森林整備の推進 |
| 12年度 | これまでの林政の推移と新たな基本政策の方向 |
| 13年度 | 森林と国民との新たな関係の創造に向けて |
| 14年度 | 世界の森林の動向と我が国の森林整備の方向 |
| 15年度 | 新たな「木の時代」を目指して |
| 16年度 | 次世代へと森林を活かし続けるために |
| 17年度 | 国民全体で支える森林 |
| 18年度 | 健全な森林を育てる力強い林業・木材産業を目指して |
| 19年度 | 林業の新たな挑戦 |
| 20年度 | 低炭素社会を創る森林 |
| 21年度 | 林業再生に向けた生産性向上の取組 |
| 22年度 | 木材の需要拡大ー新たな「木の文化」を目指して |
| 23年度 | 東日本大震災からの復旧・復興に向けて |
| 24年度 | 森林・林業の再生と国有林 |
| 25年度 | 森林の多面的機能と我が国の森林整備 |
| 26年度 | 森林資源の循環利用を担う木材産業 |
| 27年度 | 国産材の安定供給体制の構築に向けて |
| 28年度 | 成長産業化に向けた新たな技術の導入 |
| 29年度 | 新たな森林管理システムの構築 |
| 30年度 | 今後の森林の経営管理を支える人材 ～森林・林業・木材産業にイノベーションをもたらす！～ |
| 令和 元年度 | 持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する森林・林業・木材産業 |
| 2年度 | （特集1）森林を活かす持続的な林業経営 （特集2）新型コロナウイルス感染症による林業・木材産業への影響と対応 |
| 3年度 | （特集1）令和3（2021）年の木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への対応 （特集2）グリーン成長のカギを握る木材需要拡大と木材産業の競争力強化 |

注：特集は昭和47年度から掲載

森林・林業白書の特集の内容（過去10年）

| 年度 | テーマ名・内容 |
|-------|--|
| 24年度 | <p>【森林・林業】森林・林業の再生と国有林 森林・林業の再生に向けて進めている取組を整理。国有林野事業の今後の展開方向について紹介。</p> |
| 25年度 | <p>【森林】森林の多面的機能と我が国の森林整備 森林の多面的機能の発揮に果たす森林整備の役割について記述。我が国の森林整備を巡る歴史を振り返り、森林整備推進のために関係者が果たすべき役割など今後の課題を整理。</p> |
| 26年度 | <p>【木材産業】森林資源の循環利用を担う木材産業 木材産業の役割と概要等について記述。我が国の戦後の木材需給の変遷と木材産業の対応を振り返り、木材産業をめぐる最近の動向と将来に向けて取り組むべき課題を整理。</p> |
| 27年度 | <p>【林業】国産材の安定供給体制の構築に向けて 人工林資源の充実や国産材需給の現状について分析し、国産材の安定供給体制の構築に向けた取組の現状や今後の課題について、「原木の供給力の増大」と「木材等の需給情報の共有と原木供給のとりまとめ」に分けて整理。</p> |
| 28年度 | <p>【技術導入】成長産業化に向けた新たな技術の導入 林業の成長産業化を図る上で基礎となる新たな技術について、林業の生産性向上、情報通信技術（ICT）の活用、木材需要拡大、花粉の発生抑制の4つに分けて、導入状況やその成果と課題等を整理。</p> |
| 29年度 | <p>【制度】新たな森林管理システムの構築 森林の集積・集約化を進める「新たな森林管理システム」の構築の方向性について、欧州の代表的な林業国であるオーストリアとの比較により、我が国林業の構造的な課題を明らかにしながら記述。</p> |
| 30年度 | <p>【人材】今後の森林の経営管理を支える人材～森林・林業・木材産業にイノベーションをもたらす！～ 林業の成長産業化と森林の適切な経営管理に不可欠である人材に着目して、林業経営体や林業従事者の動向や課題を整理しつつ、森林・林業・木材産業におけるイノベーションの必要性や個々のイノベーション事例について記述。</p> |
| 令和元年度 | <p>【SDGs】持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する森林・林業・木材産業 我が国におけるSDGsと森林・林業・木材産業との関係性を整理するとともに、企業を始めとした様々な主体の森林との多様な関わりを、多くの事例を用い紹介。また、SDGsの達成に向けた関係者の役割を記述。</p> |
| 2年度 | <p>【林業】森林を活かす持続的な林業経営 特集1として、林業経営体の課題を整理した後、森林の循環利用を前提とした販売強化・低コスト化による収益性向上、人材の確保・育成、体制整備の取組について紹介。まとめとして、今後の林業の収支構造試算等の林業経営の可能性を提示。</p> <p>【林業・木材産業】新型コロナウイルス感染症による林業・木材産業への影響と対応 特集2として、林業・木材産業における新型コロナウイルス感染症拡大の影響を記述するとともに、社会の変容に対する林業・木材産業の動きを紹介。</p> |
| 3年度 | <p>【林業・木材産業】令和3（2021）年の木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への対応 特集1として、令和3（2021）年の木材不足・価格高騰の状況を整理し、輸入材から国産材への転換や国産材の安定供給に向けた取組を記述。</p> <p>【木材産業】グリーン成長のカギを握る木材需要拡大と木材産業の競争力強化 特集2として、カーボンニュートラル等に貢献する木材利用の意義や建築分野における木材需要の状況を紹介した後、木材産業の競争力強化の動向等を整理。最後に木材需要拡大と木材産業の競争力強化に向けた課題と対応を記述。</p> |